

年譜

- 1938年 画家戸津文雄の長男として東京浅草に生れる
- 1954年 東京都立工芸高等学校入学 初めて鑄金を体験しその面白さに出逢う
- 1961年 東京藝術大学工芸科鑄金専攻卒業 工芸科金工部副手日展(東京都美術館)・現代工芸美術展に出品(日本橋高島屋)(~70年)
- 1964年 東大寺大仏の鑄造に関する共同研究が開始され毎年参加
- 1969年 東京藝術大学工芸科鑄金専攻の非常勤助手・非常勤講師として勤務(~82年)
- 1970年 グループ展・個展に動物をモチーフに作品を発表(新宿小田急・六本木つかもとなど)
- 1976年 日本伝統工芸展初入選 奨励賞受賞 以後21回入選(日本橋三越)
- 1977年 伝統工芸日本金工展・伝統工芸新作展に出品 文化庁長官賞・朝日新聞社賞日本工芸会賞・記念賞・日本工芸会東京支部賞・奨励賞などを受賞 伝統工芸日本金工展・伝統工芸新作展 鑑審査委員を歴任・日本工芸会正会員(~06年)
- 1981年 東武動物公園に「親子の河馬」モニュマン制作・設置
- 1982年 東京藝術大学文部教官助手
- 1983年 「伝統工芸30年の歩み」展(サントリー美術館)
- 1986年 「工芸・世紀末の旗手たち」展(サントリー美術館) 東京藝術大学文部教官講師
- 1987年 「東京藝術大学創立100周年記念」展(有楽町アートフォーラム) 文部省在外研究員として中華人民共和国に派遣
- 1988年 東京藝術大学文部教官助教授 「全米鑄鉄鑄造美術家会議」出席(アラバマ州・オレゴン州・ワシントン州・ミネソタ州)
- 1989年 平泉中尊寺に「松尾芭蕉銅像・奥の細道銘板」制作・設置「鑄る」戸津圭之介自選展(中尊寺資料館)
- 1990年 平成天皇即位大嘗祭使用「州浜」の塑造原型の制作
- 1991年 東京藝術大学文部教官助教授 鑄金の魅力「戸津圭之介の世界」展(富岡美術館)
- 1992年 杉並区指定文化財「青銅鑄造製灯籠一対」の保存修復を開始(~95年)
- 1994年 国際交流基金による「在外日本美術品調査団」に参加ポーランド・ロシア歴訪 日本橋青銅製裝飾品調査・保存修復開始
- 1995年 薬師寺講堂薬師三尊像鑄造技法調査(文化庁・奈良県教育委員会)
- 1997年 共同研究の成果「東大寺大仏の研究―歴史と鑄造技術―」刊行(共著)岩波書店
- 1998年 法隆寺百済観音堂奉納「金彩蠟型鑄銅五具足」制作
- 1999年 法隆寺百済観音堂奉納「金彩蠟型鑄銅常夜灯」制作 「日本橋裝飾品の解体・修復工事」総括監修 完成 日本橋88周年記念フォーラム~日本橋に青い空を~(三越劇場)
- 2000年 調べ学習日本の歴史「奈良の大仏の研究」監修・イラスト制作(ポプラ社)
- 2003年 「工芸の世紀」展(東京藝術大学美術館)
- 2004年 個展 第1回「鑄る」戸津圭之介展(銀座ギャラリームサシ)
- 2005年 退任記念「鑄る」戸津圭之介の軌跡展(東京藝術大学大学美術館陳列館)
- 2006年 「鑄る」戸津圭之介作品集展(日本橋三越) 日本工芸会 退会
- 2007年 日本美術「今」-絵画・彫刻・工芸-展(日本橋三越) 個展第2回「鑄る」戸津圭之介展 一よみがえる動物たち-(銀座ギャラリームサシ)
- 2009年 個展 第3回「鑄る」戸津圭之介展-HIPOPOTAMUS-(銀座ギャラリームサシ)
- 2011年 個展 第4回「鑄る」戸津圭之介展-HIPOPOTAMUS-II(銀座ギャラリームサシ)
- 2013年 個展 第5回「鑄る」戸津圭之介展-鎮魂の譜-(巢鴨 高岩寺境内)
- 2015年 テーマで調べる「東大寺の大仏」監修・イラスト(ポプラ社)
- 2017年 東日本大震災七回忌「抜苦地藏」制作・開眼(岩手県大槌町 吉祥寺境内)
- 2018年 個展第6回「鑄る」戸津圭之介展「祈りの風景」(巢鴨 高岩寺会館) 個展第7回「鑄る」戸津圭之介展~ブロンズに魅せられて~ 梅野記念絵画館(長野県東御市)

現在:鑄金作家(無所属)・工房「むじろ」主宰・東京藝術大学名誉教授



「親子」バンジー 1970



白金彩蠟銀渦巻盤 1986



蠟型鑄銅「クモザル」蓋物 1989



今昔物語より「シシとワシの話」(部分) 2012



金銀彩蠟型黄銅耳付盤 2004



鑄銅花器「青の譜」 2000



蠟型白銅鑄絡龍銀深鉢 2005



水の中のおやこ 2011



水の中の仔かば(3頭組) 2010



阿吽のかば



今昔物語より「亀の恩返し」(部分) 2016



今昔物語より「美しい鹿の話」(部分) 2012



今昔物語より「調子にのったキツネ」(部分) 2016